

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
49,512	14,884	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

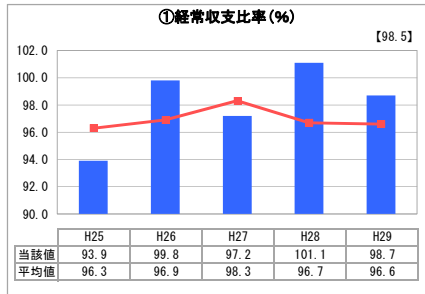
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
162	-	162

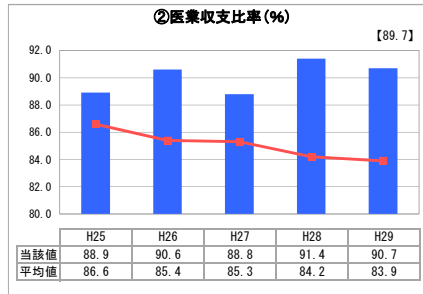
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

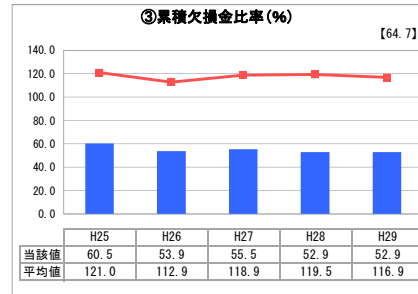
## 1. 経営の健全性・効率性



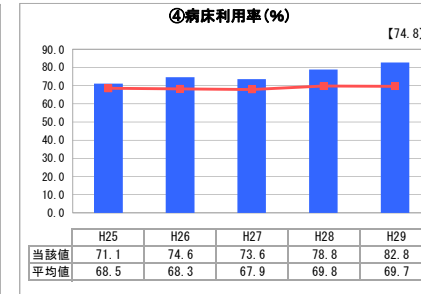
「経常損益」



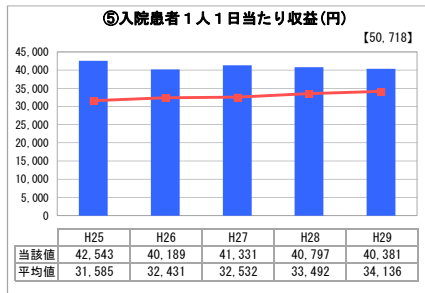
「医療損益」



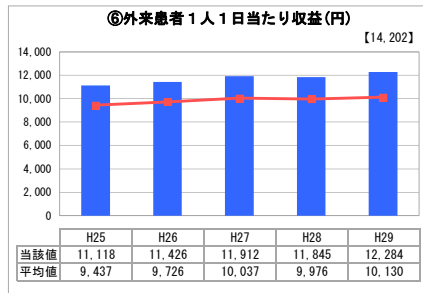
「累積欠損」



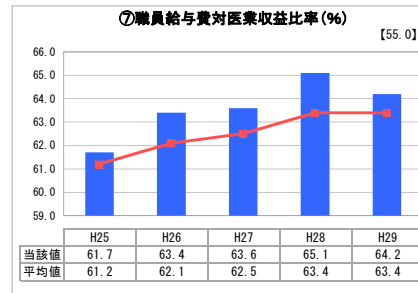
「施設の効率性」



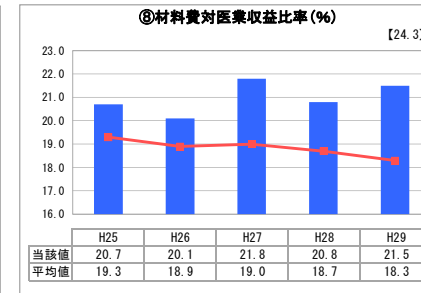
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

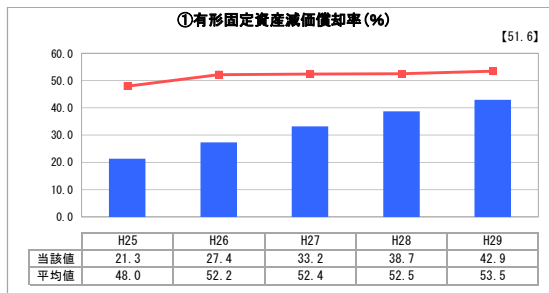


「費用の効率性①」

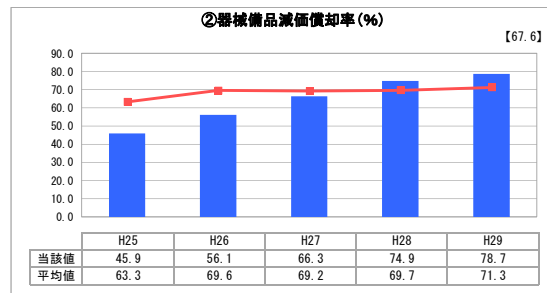


「費用の効率性②」

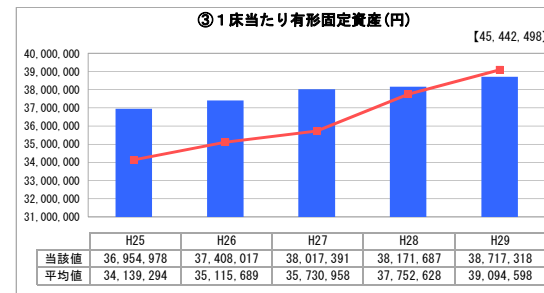
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

「われわれは市民のここから健康を支え、住みよいまちづくりに積極的に貢献します。」という基本理念の下、自治体病院として、救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療などの政策的医療及び在宅医療を安定して提供できるような努めており、地域医療を確保する役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度は、医療収益比率が90.7%、経常収支比率が98.7%となっており、前年度の黒字決算から一転して赤字決算となった。  
その要因としては、収益面では、平成28年7月に設置した地域包括ケア病棟が対前年度4.2%増の89.5%と高い水準で稼働することができ、病院全体の病床利用率としても82.8%と良好であった結果、医療収益は増収となったものの、減価償却費の大幅な減少に伴い医療外収益における長期前受金の戻入額が大きく減少したこと、費用面では、職員給与費対医療収益比率が64.2%と相変わらず高いこと、積極的に材料費、経費等の削減に努めたものの、収益に見合う額以上の支出となったことが挙げられる。  
今後については、中長期的な増収策を検討していくとともに、計画的な職員採用による人件費の削減、既存の医療財源の有効活用などによる諸費用の抑制などを行っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成23年度に新病院建設に伴う巨額の投資を行ったため、これにより毎年度、多額の減価償却費を計上していたが、平成29年度末をもって一定の償却を終了した。  
しかしながら、据置きとなっているCT、電子カルテシステムなどの高額機器等の更新時期が近づいており、今後も多額の投資が必要とされる。

### 全体総括

病院運営については、前年度に比べ、病床利用率は順調に上がっている。一方で、1床当たりの投資額もこのことに比例して増加している。  
引き続き、平成28年度に策定した第3次さぬき市民病院改革プラン（平成28年度～平成32年度）に基づき長期的に安定した経営基盤を確保するため、既存の限られた医療資源を有効活用し、過度な投資を抑えつつ、経営の健全化を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。